



# 北部医療センターだより

2024年夏号

HIROSHIMA CITY NORTH MEDICAL CENTER ASA CITIZENS HOSPITAL

地方独立行政法人広島市立病院機構 広島市立北部医療センター安佐市民病院

〒731-0293 広島市安佐北区亀山南1-2-1 Tel 082-815-5211(代表) <https://www.asa-hosp.city.hiroshima.jp/>

ご自由にお持ち帰りください

HPはこちら



## 病院長挨拶

みなさまご存じの通り安佐北区は小学生よりも鹿の数が多いというユニーク？な土地柄ですが、近年では鹿や猪に加え熊の目撃情報も病院近くでちらほら聞こえてくるようになりました。2014年に日本創成会議が提示した消滅可能性都市には安佐北区が載っていましたが、今年4月に人口戦略会議が発表した消滅可能性自治体のリストでは広島市は区別ではなく全域での表示となったおかげで安佐北区の名前は外れました。しかし安佐北区の状況に変わりはなく、加えて広島市の中でも安佐南区以外は当地に負けず劣らず若年女性の人口減少は顕著であり、地域の総人口減少は避けて通れない道となっています。



おの ちあき  
病院長 小野 千秋

さて、話はガラッと変わりますが、みなさまは「ChatGPT」という言葉を耳にしたことがありますか？これはパソコンやスマホから入力された指示に対し適切な回答を返してくれるAI技術の製品名です。スマホに向かって今日の晩ご飯の献立とそのレシピを尋ねればすぐにいくつか提案してくれるといった具合です。何を基にして答えているのかはブラックボックス的なところはあり、しばしば答えを間違えますが料理の献立程度なら誤りでもまずい程度ですみますね。1年前にはまだそれほど一般的ではなかったこのような生成AIと呼ばれる技術は他の会社からも提供されるほど注目を集めており、皆さんのスマホからでも簡単にこの技術を使える時代がすでに到来しています。

AIは医療の分野にも急速に導入されてきており、北部医療センター安佐市民病院でもAIを活用した医療機器を積極的に導入し、患者さんに対しより質の高い医療提供に努めています。大腸の内視鏡検査ではAI技術を用いた画像解析により、病変をさらに高精度に検出することができます。CT検査での画像診断ではAIによる画像解析支援により医師の診断精度向上と読影時間の短縮を実現しています。

昨今の医療現場を取り巻く環境は厳しく、働き方改革や人手不足といった課題に直面し労働力の確保に苦心していますが、そのような中でも職員一人ひとりが働きやすい環境づくりを目指し、デジタル技術を活用した病院独自での業務改善にも取り組んでいます。

医療技術の進歩は私たちの生活をより安全で快適なものに変えていきます。AIを用いた画像解析の技術は医師の業務負担を

軽減し、患者さんの治療をより迅速かつ正確に行うことを可能にしています。このような技術革新はこれから多くの人々の健康を支えることになると思います。



最後に、人口減少が確実なこれからの時代は病院が病院だけで存続していくことはできないと考えており、北部医療センター安佐市民病院にはこれからも地域みなさんの支えが必要です。私たちと共同して地域の医療の質の向上、ひいては地域の住みやすさの向上を目指していきましょう。

# アミロイドPET検査によるアルツハイマー病の診断と 新薬レカネマブによる治療

当院は、2023年10月に広島市から「広島市北部認知症疾患医療センター」の指定を受け運営を開始しました。

認知症という言葉をご存じだと思いますが、ご自身やご家族のものの忘れが気になることはありませんか？さっき聞いたことをすぐ忘れて何回も同じことを聞き返す、しょっちゅう置き忘れをして物がなくなる、日にちが分からなくなる、よく薬を飲み忘れる、といったことはありませんか？以前はできていた趣味、仕事、家事、計算などができなくなっていますか？体調が悪いとか何か特別な原因があれば別ですが、いつも通り元気そうなのにこういった症状が続く場合には、初期の認知症を発症している可能性があります。

認知症かもしれないので調べてもらいたい場合には、一体誰に相談すればよいのでしょうか？答えは、いつも診てもらっているかかりつけ医（開業医）です。かかりつけ医は自身の専門分野は違っても認知症についてよく勉強をされており、検査が必要な場合にはお近くの専門医療機関や当院に紹介してもらえます。何でも困ったことがあれば迷わずに、まずは、かかりつけ医に相談しましょう。

当院では、アルツハイマー病新薬レカネマブによる治療を行っています。レカネマブは発症前か発症初期のアルツハイマー型認知症の方が治療の対象で、他にも条件がありますが90歳まで治療は受けられます。そして、その前に受けなければならない検査がアミロイドPET検査です。もし陽性であればアルツハイマー型認知症と診断され、レカネマブによる治療を受けることができます。また、当院では認知症の早期発見・早期対応を目指して「もの忘れ外来」を行っており、認知機能検査、画像検査（MRI、CT、PET、SPECT）から治療までの全てを行うことができます。

2025年には日本の認知症の患者数は471万人で、その前段階である軽度認知障害の患者数は564万人と推定されています。認知症は放ってはおけない脳の病気です。どんな病気でも同じですが、認知症も早期発見、早期対応が極めて重要です。かかりつけ医がなく、もの忘れや気になる症状があるのでどこかに相談したいけど、どこに相談すればいいかわからない方は、「広島市北部認知症疾患医療センター」にご相談ください。



脳神経内科 主任部長  
広島市北部認知症疾患  
医療センターセンター長  
やました ひろし  
山下 拓史



専用電話

082-815-5299

相談日

月曜日～金曜日（祝日・8月6日・年末年始を除く）

相談時間

午前9時～12時 午後1時～4時30分  
（午後は面談のためお待たせすることがあります）

## 広島市北部認知症疾患医療センターの認知症画像検査

MRI (GE 1.5T)



MRI (GE 1.5T)



MRI (Philips 3T)



SPECT-CT (GE)

脳血流シンチ  
DATシンチ  
MIBG心筋シンチ



他にCT 4台

PET-CT (Siemens)

アミロイドPET  
2024年開始予定





## 能登半島DMAT出動(医師編)

1月1日に発生した令和6年能登半島地震にDMAT隊として医療支援に行ってきました。医師1名、看護師1名、業務調整員として放射線技師1名と薬剤師1名の計4名でチームを編成し、1月11日に出発、12日から17日まで七尾市の能登総合病院内に設置された活動拠点本部内での活動を行いました。

災害時の医療支援は災害現場での救命活動のみならず、被災した地元医療機関の支援(人的、物的)、搬送支援、避難所支援、高齢者施設支援など多岐に渡ります。今回自分たちの隊は本部内での業務であったため、被災現場や多数の避難所を直接見る機会はなかったのですが、比較的被害が少ないと思われた七尾市においても道路や外壁の崩れ、耐震構造の災害拠点病院である能登総合病院も壁や天井のタイルの破損、連日の給水車で給水、エレベーター使用不可など、その被害の大きさを垣間見ることはできました。その能登総合病院には毎日患者が救急搬送されており、災害現場や施設、他の医療機関からの患者を受け入れるため能登総合病院からも連日転院搬送が行われていました。そういった中、被害が大きく入院患者を全員避難させ、外来のみ行っていた医療機関が給水さえ確保できれば入院を再開することができるとのことで給水支援を申し出るということがありました。被災者でもあり、スタッフも通常の半数以下であるにもかかわらず、地元のために何が必要で何ができるのかを常に考えて行動されている地元の医療機関には本当に頭が下がる思いでした。

DMATやその他多くの災害医療チームはあくまで支援チームであり、その中心は地元医療機関であることをあらためて感じました。当院は災害拠点病院であり、大規模災害時には(災害時だからこそ)普段から周辺医療機関との連携が重要になると改めて感じました。

この貴重な経験を日常の診療、他機関との連携に活かし役立てていきたいと考えております。

今回の派遣を許可いただいた病院長をはじめ、派遣に際して様々な支援をいただいた職員の方々に感謝を申し上げます。



救急科 主任部長  
たはら なおき  
田原 直樹

## 能登地震 DMAT出動(看護師編)

就職時は救急外来配属であり多数の救急患者受け入れをする中で災害医療に興味を持ち、2018年にDMAT(災害派遣医療チーム)の資格を取得しました。その後は災害時の派遣支援のために個人装備の準備や自己研鑽に努めてきました。1月1日の災害発生時は携帯電話の防災速報アラームで石川での地震に気がつき、テレビやインターネットで情報収集を行っていました。1月2日にはDMATの自動待機も解除となりましたが、災害の被害が甚大で全国的に派遣要請が広がり、1月10日に派遣が決定しました。派遣については不安もありましたが、「できることをしてやる!」という気持ちが強かったです。当院のDMAT隊は中部医療圏の本部運営担当となり、資機材の管理を主に行いました。テレビやドラマで見るように被災者の方にお会いして支援をする訳ではありませんでしたが、他のDMAT隊員のサポートをする形で間接的な支援を行いました。現地では未だに避難所での生活を余儀なくされている方がたくさんおられ、テレビやニュースで大きく取り上げられることは少なくなってきましたが、改めてとても大きな災害であったと感じます。

今回DMATとして出動できたのは勤務調整や交代をしてくれた上司や同僚の後方支援、家族の協力があったからだと感じます。DMATはどんな活動をするようになるか行ってみないと分からず、様々な知識・技術と臨機応変な対応力が求められます。4月も高知県で震度6弱の地震があり、南海トラフ地震などの大規模な地震が起こる可能性があると言われています。今後もDMATの活動に際して周囲への感謝の気持ちを忘れず、出動時には被災者の気持ちに寄り添い、少しでも力になれるよう、自己研鑽に努めていきたいです。



看護師  
たかさき しゅん  
高崎 俊



能登総合病院へ



支援物資



全国の病院から



情報交換



## 中国 - 重慶市人民医院 医学交流訪問報告

2023年12月11日から15日にかけて中華人民共和国 重慶市にある重慶市人民医院へ医学交流訪問を行いました。重慶市は中国西南部最大の商工業中心地であり、直轄市としては中国最大の人口を誇る非常に大きな都市です。広島市と重慶市は1986年に友好都市として提携調印を行って以来、文化交流や学術交流、医学交流を頻繁に行っており、今回の我々の医学交流訪問は10回目とのことでした。訪問は当院整形外科及び総合診療科の医師と私の3名で行いました。



正面ロビーにて張華病院長らと

今回訪問した重慶市人民医院は病床数が2000床と、当院（434床）と比較して非常に規模の大きい病院であり、さらに2つの分院と健康管理センターを併せ持つ国立の3次病院です。本院である両江院本部は数年前に建て替えたばかりの新しい病院で地下3階～16階まであり、設備や医療機器も充実していました。特に外来正面ロビーは3階までの吹き抜けとなっており、病院規模の大きさを物語っていました。医療技術や機器・設備については日本と同様のものが多くある一方で、医師の労働環境が非常に良く整備されていることや入院患者

の身の回りのことは看護師ではなく家族が行っているなど日本との違いも所々見受けられました。

今回の訪問では言語の壁がありながらも、日本語・英語・中国語を交えながら両国の最先端医療や医療の現状、問題点などについて積極的な議論を行う中で国際交流の重要性について改めて考えるきっかけとなりました。

現地では私たちの交流訪問がスムーズに行えるよう、重慶市人民医院の方々に非常に良くしていただきました。この場をお借りして御礼申し上げます。今回の経験を活かし、今後の医療の発展に貢献できるように努めていきます。



両江院本部を背景に



診療放射線技師  
もり まさよし  
森 正好

## 遺伝カウンセラー養成コースでの研修を終えて

医療ソーシャルワーカーの平山朱里と申します。

私は2022年4月より2年間、広島大学大学院医系科学研究科の遺伝カウンセラー養成コース研修を受け、今年度より通院治療センター内の「がん相談支援センター」へ配属となりました。現在、がん相談及び様々な遺伝性疾患に係る遺伝カウンセリングに関わっております。

保健学研究科・医系科学研究科  
School of Biomedical & Health Sciences / Biomedical and Health Sciences



学位記授与式にて

遺伝性疾患に関する診断の場合、ご自身だけでなく血のつながったご家族にもかかわるお話になります。そして一度ご自身が遺伝性疾患であることを知ると、知らなかったことにはできず、またその事実は一生涯変わらないという特徴もあります。そのため、遺伝性疾患であるかどうかを調べる際には、事前に遺伝カウンセリングを受け十分に検討してから調べる必要があるのです。

この遺伝カウンセリングを行うことができるよう、この度2年間の研修で学ばせていただきました。今後も経験を重ねながら、遺伝カウンセラーとして少しでも患者様のお役に立てるよう精進して参ります。またこの場をお借りして、お世話になりました広島大学の先生方並びに貴重な学習の機会をくださいました北部医療センター安佐市民病院の関係者の皆様に深くお礼申し上げます。



医療ソーシャルワーカー  
ひらやま あかり  
平山 朱里



研修修了しました

PICK UP!

### 公式YouTubeチャンネル

最新の技術紹介やWEB講演会などの医療従事者向けの動画だけでなく、施設紹介や検査の流れなど当院を受診される患者様や受診を検討されている患者さんの役に立つような動画を発信しています。



PICK UP!

### 公式Instagram

皆さまに親しまれる病院を目指し、院内や院内スタッフの活動、季節の風景、イベントの様子など、当院の特徴や魅力などを随時発信しています。あたたかい「フォロー」&「いいね」お待ちしております。

